

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11288

市民会館管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動環境の整備充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	市民会館費		
	大事業	市民会館事業		
	中事業	市民会館管理運営事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	洲崎 敬一郎 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市民会館条例、和歌山市民会館条例施行規則		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	市民会館を安全に利用できるように維持管理する。		和歌山市民会館を安全に利用するための維持管理事業			
事業内容		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
		施設管理運営 指定管理者 (公財)和歌山市民文化スポーツ 振興財団を指定管理者とし、 会館の貸出業務、管理業務や 自主事業を実施	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業 務、自主事業の実施 指定管理者 公益財団法人和 歌山市民文化スポーツ振興財団	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業 務、自主事業の実施 指定管理者 公益財団法人和 歌山市民文化スポーツ振興財団	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業 務、自主事業の実施 指定管理者 公益財団法人和 歌山市民文化スポーツ振興財団	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業 務、自主事業の実施 指定管理者 公益財団法人和 歌山市民文化スポーツ振興財団

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	208,495	206,788	206,606	200,903	202,541	195,699	206,261	0	206,261	0
伸び率(%)	△1.3%	△0.4%	△0.9%	△2.8%	△2%	△2.6%	1.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	4,946	5,344	4,956	3,277	7,571	7,491	12,645	0	12,645
	正規職員以外	0	0	0	2,374	0	0	1,471	0	1,471
	小計	4,946	5,344	4,956	5,651	7,571	7,491	14,116	0	14,116
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	1,650	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	79,625	76,433	81,412	71,809	80,186	60,515	73,542	0	73,542	0
一般財源(税等)	128,870	130,355	125,194	129,094	122,355	135,184	131,069	0	132,719	0
所要人数 (人)	正規職員	0.62	0.67	0.62	0.41	0.94	0.93	1.57	0.00	1.57
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.48	0.00	0.00	0.29	0.00	0.29
主な予算内訳	管理運営委託料 201,513千円 等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
自主事業開催数		回	目標値	50	50	50	50	25
			実績値	53	54	51		
			達成度(%)	106%	108%	102%	%	%
自主事業入場者数		人	目標値	25000	25000	25000	3200	18000
			実績値	15748	15555	17376		
			達成度(%)	63%	62.2%	69.5%	%	%
施設利用件数		件	目標値	5000	5000	5000	1000	2500
			実績値	2277	2130	1795		
			達成度(%)	45.5%	42.6%	35.9%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	施設を適切に維持管理し、市民の文化芸術活動の場として提供することで文化振興に寄与する。
見直し・改善内容	令和3年に新しい市民会館である和歌山城ホールを開館する予定である。 市民の文化芸術活動の拠点として今後も利用者の増加を図っていきたい。